

# ときめき インタビュー



…プロフィール…

松本ひろ実(サクソ) (右) / 越谷市出身。大相模小、東中、春日部女子高を経て、国立音楽大学、ウィーン国立音楽大学を卒業。  
松本修一(作曲・ピアノ) (左) / 兵庫県生まれ。両親の都合で転勤を繰り返し、2003年より越谷に在住。尚美学園短期大学卒業後、ドイツ・ハンブルクにて作曲を学ぶ。  
東京、横浜、埼玉、千葉、長野を中心に、コンサートやイベント、ホテルでの演奏、プラネタリウム・コンサートのプロデュース、各地方自治体の生涯学習講座への出演など、多方面で活躍中。また、美術館コンサートや多分野のアーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組む。

## 音楽を通じて

### 多くの人と出会いたい

「サクソとピアノのロマンティックサウンド」をキャッチフレーズに、映画音楽からジャズ、クラシック、ポップス、オリジナル曲まで幅広いレパートリーを、抜群のテクニクと華麗なサウンドでこなす「デュオ ルクレール」。

ピアノistで作曲家の松本修一さんと、サクソプレイヤーのひろ実さんと、ご夫婦のデュオで、結成されたのは、二人が同じ事務所に所属していた94年。当初はお互いに別々の活動をしていましたが、理解を深めるにつれ一緒に活動する機会が増え、99年に二人で独立舞台芸術団体「ミュージック・カンパニープロジェクト「M」」を結成し、同時に「ルクレール」の活動も本格化。現在は、年間80ステージをこなします。

「楽しくなければ音楽じゃない！」と笑顔で語るひろ実さん。これは、ひろ実さんがウィーン留学時代にスロベニア人の恩師から教わったことだそうですが「難しい音楽や気取った音楽は自分たちの目指すものではないし、何より

音楽を続ける一番の理由は、より多くの人と出会うためです。コンサートでも「会場に足を運んでくれるお客様とじかに触れ合い、いつも同じ目線でありたい」と言います。

「ルクレール」とは、フランス語で「光」。二人の音楽に対する姿勢は、まさに闇夜を照らす明るさと、アットホームな温かさを感じさせるものでした。

## 越谷の印象

「昔に比べると、都心へのアクセスが格段によりよくなりましたね」とひろ実さん。一方、ご主人の修一さんは、6年前に越谷へ転居してきたときの印象を「越谷へ来て何より驚いたのは、心を癒される自然が身近にたくさん残っていたことです。以前は東京の住宅地に住んでいましたから、曲作りから解放されると決まって郊外の自然の中へ出かけていました。でも、越谷へ来てからは、わざわざ遠くまで出かけなくてもすぐそこに自然がある。それが何よりありがたいですね」。「水郷こしがや」に残る自然の風景は、曲作りをする修

一さんにとって癒しの場になっていくようでした。

## 越谷を

### 音楽のあふれる街にしたい

「デュオ ルクレール」は、3月にサンシティホールで行われた、市制施行50周年記念ファイナルイベントコンサートに参加。また、ひろ実さんは、9月1日に施行された越谷市の自治基本条例の策定にも公募委員として関わりました(6ページ参照)。きっかけは「越谷市をもっと文化的に、音楽のあふれる街にしたい」という思い。「決まったときに決まった場所へ出かけなくては音楽と触れ合えない」というのでは、本当の文化は育たないのではないのでしょうか。音楽も自然と同じようにもつと身近に触れることができるようにしたい。

そして、この思いを実現すべく、現在、市内在住の音楽家とのネットワーク作りや、各方面への働きかけに奔走しています。

## 「まちかどに音楽を！」プロジェクト

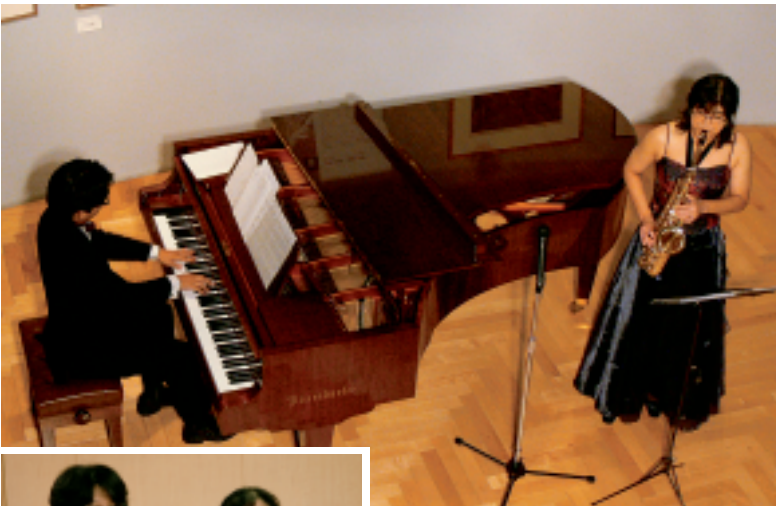
「わたしたちの思いに賛同し、演奏の場を貸してくださる方、また、一緒に活動してもらえる音楽家の方や活動のお手伝いをしてい

ただける方を募集中です」。

10月には5枚目のアルバム「ルクレール ファンタジー」をリリース予定。「既成のルールへの反抗や、人間の葛藤、挫折、そしてその先に見える希望など、ロマン主義をテーマにしたながらルクレールらしいファンタジーあふれる作品になりました」。

精力的に活動を続ける「デュオ ルクレール」。越谷の街角に音楽があふれ、道行く人の心を温かく包み込む日が来るのも、そう遠いことではないかもしれません。

## 楽しむことこそが音楽。もつと気軽に、もつと多くの人と楽しさを共有できる場を。



サクソとピアノのロマンティックサウンド  
デュオ ルクレール さん



サクソとピアノという二人きりの演奏スタイルにこだわり、ホールばかりではなく、プラネタリウムや美術館などさまざまな場所をコンサート会場に変えてきた「デュオ ルクレール」。

現在の二人の夢は、場所にこだわらず、観客と触れ合える距離で演奏をし、越谷の街を音楽で満たすことだそうです。